

事業番号090										
平成25年行政事業レビューシート（外務省）										
事業名		在外選挙に必要な経費（在外選挙実施経費）			担当部局庁		領事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度					担当課室		政策課		課長 田島 浩志	
会計区分		一般会計			政策・施策名		IV-1-1 領事サービスの充実			
根拠法令（具体的な条項も記載）		公職選挙法第49条の2 外務省組織令第13条第4項			関係する計画、通知等					
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		参議院の任期満了(平成25年7月28日)による通常選挙に伴う在外選挙に係る周知, 在外公館投票の実施及び記載済み投票用紙の運搬等に要する経費である。								
事業概要（5行程度以内。別添可）		海外の推定有権者数88.7万人(=在留邦人数118.3万人(平成23年10月1日現在)×推定有権者率:75%)における在外選挙人名簿登録者数は, 平成25年3月末現在で約12.0万人(登録率13.49%, 外務省調べ)に達しており, これらの在外選挙人の選挙権行使の機会が確保されるよう努める必要がある。 また, 在外公館投票が円滑かつ公正に行われるよう, その実施体制を整備するとともに十分な周知を行う必要がある。								
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	361	—	70	287			
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	178	—			
			計	361	—	248	287			
		執行額		330	—	235				
		執行率（%）		91.4%	—	94.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
		本事業は, 法律にもとづいて実施される参議院議員通常選挙に伴う在外投票の管理執行を行うものであるため, 定量的な目標を設定することは困難。 (参考指標として、在外選挙人名簿登録者数を記載した。)	成果実績	人	120,155	117,308	119,615	—		
			達成度	%	—	—	—			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
		投票者数	活動実績 (当初見込み)	人	23,786	—	19,652	—		
—	(—)				(—)	(—)				
単位当たりコスト		11,969円／件			算出根拠	平成24年執行額235百万円／投票者数				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	在外選挙事務謝金(本省)		1	—	平成26年度においては国政選挙が行われないことから予算を計上していない。					
	在外選挙事務庁費(本省)		14	—						
	在外選挙事務謝金(在外)		106	—						
	在外選挙事務職員旅費(在外)		66	—						
	在外選挙事務庁費(在外)		100	—						
計		287	0							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国民の参政権に関する事業であり、最優先すべき事業。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国が実施すべきであり、かつ他に実施できる機関はない。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	現地事情に即したものとなっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	在外選挙人は、投票に赴くなど一定の負担がある。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	経費削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	合理的なものとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	引き続き在外選挙人の投票権行使の機会を確保する。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	617	平成24年	

個別事業名：

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

外務省
235百万円

A 民間会社2社
各在外公館における日系企業等個別説明会事務補助員謝金

B 民間会社2社
在外選挙広報資料作成及び未記入投票用紙送料

C 在外公館〇〇〇公館所在地現地業者等
各在外公館の在外選挙事前準備事務補助員，在外公館投票事務補助員，警備謝金経費

D 在外公館投票を実施した〇〇〇公館における出張者
在外公館の記載済み投票用紙運搬クーリエ旅費

E 在外公館〇〇〇公館所在地現地業者
各在外公館の文房具，ダイレクトメール用封筒代，投票者待合室借料，現地広報等

個別事業名：

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					